

CMSC栃木 川口法行  
筑波ナイター耐久レース 参戦記

# 念願の優勝! 去年の無念を晴らす!

8月12日の「第16回筑波ナイター耐久レース」に参戦してきました。去年は予選前のフリー走行中にクラッシュして車両が大破、決勝で3位まで上りつめながらもエンジントラブルのためリタイアとなる結果でした。今年はその苦い思いを打ち消すために念入りな計画を立て、優勝を目標にレースに望みました。前日はセッティングのためにサーキット入り。今年は4時間の耐久レースとなったため、昨年までの9時間と比べてよりスプリント化することを予想して、サスペンションセッティングを入念に行いました。当日の午前中に予選がはじまり、ポールポジションを目指してタイムアタックを開始。惜しくも目標は達成できませんでしたが、トップより1秒遅れで予選3位となり、好位置につくことができました。夜の決勝では台風接近の情報を聞き、ウエット路面での走行も考えたセッティングに変更して望みました。午後8時、いよいよ決勝レースがスタートしました。序盤からトップをキープしたまま1時間が経過し、第2ドライバーへと交替。その後、突然降り出した大雨の中でも慎重に周回を重ね、



2時間が経過した頃には2位の車輛に2LAPの差をつけトップを独走していました。雨脚が強くなる中、残りの2時間は2LAPの差を大切に使う無事ゴール。スタートから一度もトップの座を明け渡すことなく、ナイター耐久レースで念願の優勝を勝ち取ることができました。今後も上位を目標に努力していきたいと思っています。応援ありがとうございました。

CMSC座間  
JAF関東ダート選手権第8戦  
6月18日

# 女優・大西結花選手が見事の優勝!



優勝した大西選手。

真夏日の6月18日、関東地区ダートトライアル選手権「ファルケンCMSC座間&クミビシクダートトライアル」が行われました。エントリー数はなんと214台で、会場の丸和オートランド那須始まって以来2番目の多さ。また全日本、オールスターに続くギャラリーの多さで、初めての地方選手権主催のオフィシャ

ルは一同大感激でした。これほど多くの方が参加・動員した理由は、シリーズ中盤に入りポイント争いが面白くなったことや、選手権外でエントリーフィーをダウン、フレッシュマンクラス他を設けるなど、クラブで努力したことにあります。しかし何と言ってもCMSC座間、チーム結花の女優大西結花さん、アイドルのななさんが花を添えてくれたからでしょう。同チームの私もうれしく思いました。テレビ局や専門誌以外の多くの取材陣、カメラ小僧の嵐でパドックは人だかりが絶えませんでした。成績は大西結花さんがエキスパートレディースクラスで見事優勝。イベントの方はCMSC座間所属のCIIIクラス、秋間忠之選手のランサーがぶっちぎりのオーバーオール。正式結果表やバルクフェルメなども、クラブ員の頑張りで全日本なみにできました。また賞金をはじめ遠来賞、レディース賞など豪華な賞品にエントラントは大感激。これからもクラブ員一同頑張りますのでよろしくお願い致します。(CMSC座間 小出久美子)

CMSC青森  
全日本ラリー選手権(4輪駆動部門)第8戦'00ツール東北  
7月22~23日

# CMSCとして初の全日本ラリー開催。

「2000ツール・ド・東北」が7月22・23日、猛暑の中で開催されました。青森県岩木町をスタートとする約330kmのコースに日本のトップクラスの選手が覇を競いました。東北で全日本ラリーを開催するのは12年ぶり。青森県初、そしてCMSC青森でも、初めての全日本戦主催ということで、ラリー設定には一昨年からの準備を進めラリー開催にのぞみました。当初はSS主体の設定だったのですが、事情により占有区間のハイアベラリーとなりました。しかし一部CP間の濃霧発生でアベレージ走行が難しくなり、その区間が勝敗を決する魅力的なものとなりました。BクラスでCMSC道北の鎌田選手が1位、CMSC秋田の近藤選手が2位となりCMSC勢も大活躍でした。開催日直前まで、ラリーの作り直しなどでスタッフは大変苦労しましたが、今までの経験が無事大会を終了させてくれました。事前のオフィシャルミーティングから来ていただいた秋田・岩手のCMSCの方々をはじめ、遠路オフィシャルとしてお手伝いいただいたCMSC埼玉の方々、またクラブ員や応援して頂いた多くの皆さまに感謝を表したいと思います。10数年前からの思いやさまざまな思いを胸に開催した今回の全日本ラリーは、生涯忘れ得ぬ思い出となりました。ラリーをやる限り「ラリーの灯」だけは、消すことなく続けねばならないと思います。皆さま本当にありがとうございました。

(CMSC青森 鶴ヶ谷慶市)



JAF全日本ラリー選手権 四輪  
2000ツール・ド  
主催 コルトモータースポーツ



表彰式での挨拶の鶴ヶ谷CMSC青森会長。

CMSC大阪  
CMSC大阪スーパーダートトライアル  
7月30日

# 初の主催で大成功!

CMSC大阪初の主催「スーパーダートトライアル」がブラザ阪下で行われました。当日は砂埃のため何度も散水する状況でしたが、選手たちはかなり熱くなっていました。コースクリアにはCMSC大阪の吉村修選手が豪快な走りを披露。ジュニアクラスの選手にはかなりの刺激だったようで数

台の転倒も。AIVクラスでCMSC大阪の矢本選手が念願の1位になるなどチームとしても喜ばしい結果に終わり、観戦の方々も参加した抽選会も大盛況でした。来年も楽しいイベントができるよう頑張りたいと思います。皆さん、ありがとうございました。(CMSC大阪 若山利廣)

## コトの連続コーナー

CMSC島根  
古藤 浩美

### MHK 日常会話 律儀な会話



**CMSC島根**  
日本海ジムカーナ第2戦「OOCMS」島根チャレンジカップ  
8月6日

# 中堅選手たちが灼熱のバトル!

岡山県備北サーキットで行われた「2000 CMSC島根チャレンジカップ」。当日は真夏日の猛暑、参加台数は70台弱と当クラブ史上最小のエントリー数でしたが、それとは裏腹にいつもより少ない顔ぶれの中で一発優勝を狙う、気合いの入った中堅選手たちの熱いバトルが繰り広げられました。

いつもより50%近く多いパイロンのため、1ヒート目はコースミス&ペナルティが繰出。暫定順位はいつになく新鮮なものになりました。それでも1日が終わってみれば、体制を立て直した常連の上位陣が表彰台に立っていたという結果でした。

また、当クラブの安部選手がランサーEvo.Vで試走したところ、これがオーバーオールタイムという快走! 計時記録をしながらニヤニヤしていた安部選手の顔が忘れられません。(CMSC 古藤浩美)



**CMSC岩手**  
JMRC東北ジュニアシリーズ第2戦ダイヤモンドトライアル  
8月20日

# 新コースオープン、2年振りに主催。



ダイナミックな走りができる新コース。

東北ジュニアシリーズの第7戦「岩手三菱ダイヤモンドトライアル」が、ダートアドベンチャー金ヶ崎で開催されました。今年オープンしたこの会場は、50万平方メートルの敷地に2km強のコースがあり、全日本級からロー

カルイベントまで開催できるコースです。一昨年以来の主催にもかかわらず80台ものエントリー、ギャラリーも1000人近く来場して熱い声援を送ってくれました。気温33度の晴天の下、声援にも負けない熱い走りでも転倒した方もいましたが、大きな事故やトラブルもなく、AIVクラスのCMSC仙台・今野昌弘選手がオーバーホールで優勝。表彰式では恒例のジャンケン大会、賞品争奪で盛り上がり終了しました。岩手三菱をはじめスポンサーの方々、参加いただいた各支部の皆さん、ありがとうございました。来年は2回以上の競技会を予定していますので、奮って参加してください。(CMSC岩手 工藤 守)

**CMSC帯広**

**8月13日  
夏の練習会**



8月13日にチーム恒例行事のダートトラック練習会を開催しました。昨年と同様、天候にも恵まれてとても熱い中での練習会となりました。走りも熱く、熱くなりすぎて転倒者1名という結果になってしまいました。

また、8月24日には外川会長と須賀氏が来帯され、夜遅くまでチーム員との交流を深めていただきました。遠いところをご苦労さまでした。

(CMSC帯広 中村洋次)

**CMSC香川**  
四、中国ラリーシリーズ第4戦CMSCダイヤスターラリー  
7月8~9日

# 森新次選手、気合いの2勝目!

今年の「CMSCダイヤスターラリー」は、ハイアベレージ区間をオールダートで行いました。途中、オフィシャルカーが1台りタイヤするというハプニングがありました。その後の競技は順調に進行して無事終了しました。

また、FCクラスのシリーズチャンピオンを狙う当クラブの森新次選手は、オフィシャルを蹴ってまで出場したかいあって優勝し、2勝目を上げました。この厚かましさを、皆さん応援してください。(CMSC香川 白井 修)



FCクラス優勝、森/高尾組

# '00チャレンジカップ 福島がわずかに座間を逆転! 接戦、後半へ。

**●クラブ別獲得ポイント**

	1~5月	6~8月	9~11月	12月	合計
福島	622	845			1467
座間	753	688.5			1441.5
広島	450	524			974
帯広	470	430			900
香川	435	309			744
栃木	295	331			626
青森	320	273			593
道北	0	567			567
山形	56	509			565
岐阜	324	228			552
大阪	368	160			528
群馬	306	216			522
浜松	177	95			272
鹿児島	160	36			196
島根	107	79			186
岩手	75	102			177
南茨城	105	69			174
秋田	111	60			171
埼玉	95	62			157
札幌	0	138			138
仙台	73.5	12			85.5
愛知	25	28			53
千葉	0	0			0

福島が、1~5月期首位の座間を僅差で逆転し、現在トップ。広島と帯広の3位争いにも注目です。以下、香川、栃木と続

き、その後は12位までほぼ横一線に並んでいます。後半戦に向け、順位争いはますますヒートアップしてきました。

**●ラリー・ドライバー部門**

鎌田 豊	道北	98
森 新次	香川	80
田口幸宏	埼玉	70
近藤隆行	秋田	70
猿谷洋文	帯広	68.5
二野下幸夫	広島	60
中尾 晃	鹿児島	46
菅野正之	浜松	42
白井 修	香川	38
小舘 久	青森	30

**●ラリー・ナビゲーター部門**

須田 力	秋田	70
鈴木直子	帯広	63.5
安波広通	鹿児島	46
鈴木和人	道北	40
松尾樹成	道北	40
梶沢宏之	青森	30
工藤克憲	青森	30
板垣達也	帯広	25
遠藤 昇	仙台	24
山地英樹	香川	24

**●ダートトライアル部門**

秋間忠之	座間	386
小出久美子	座間	381
石井宏和	座間	352
吉村 修	大阪	316
鈴木正孝	福島	288
岩根つもる	広島	256
赤羽政幸	栃木	253
河内 渉	広島	234
三木利夫	香川	220
西 健一	道北	205

**●ジムカーナ部門**

高野 聡	福島	128
堅田一也	青森	116
宇野慶一	青森	106
葛西 満	青森	76
長内 豊	帯広	65
青沼達也	帯広	60
工藤裕史	青森	60
篤谷英晶	青森	59
佐藤義隆	福島	52
高橋和雄	帯広	51

**●レース部門**

小川日出生	山形	211
細野智行	山形	110
添田 正	栃木	100
小暮吉則	栃木	100
伊藤勝一	山形	90
松井猛敏	山形	64
川口法行	栃木	60
人見俊一	山形	45
内堀篤史	栃木	40
羽根幸浩	座間	30
市村秀明	座間	30

**●ポイントのつけ方**

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下	リタイア
ポイント	A 40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	1
	B 20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0.5

A: <ラリー>、ダートトライアル、ジムカーナ> JAF全日本選手権(含むレディースクラス)、JAF地方選手権(除くレディースクラス) D.E.F地区最上級ラリーシリーズ JAFオールスターダート(含むレディースクラス)、JAFカップジムカーナ(含むレディースクラス)、A~H地区オールスターダートトライアル(含むレディースクラス)  
<レース>全レース  
<海外競技> FIA ASN 公認全て(含むヒルクライム)  
B: 上記以外